



# 待鳳だより

R7 下半年期学校評価アンケート結果号  
令和8年2月  
京都市立待鳳小学校 校長 牧 紀彦

## 学校教育目標「考えを深め会い、夢に向かって挑戦する待鳳の子」

←肯定的 | 否定的→

子どもは日常のいろんなことに「なぜ?」「どうして?」などの疑問を感じる人が多い



子どもは知りたいことについて、よく自分で調べたり考えたりしている



子どもは自分の考えをおうちでよく話している



子どもが自分の考えを話すときは、その理由まで話すようにしている



子どもは家族や人の話をよく聞いている



子どもは相手を大切にした言葉づかいをしている



子どもは自分と違う意見や考えも大切にしている



子どもは自分の考えと比べながら人の意見や考えを聞いている



保護者

12月にすぐーで配信した学校評価へのご協力ありがとうございました。上半期に引き続き、多くの保護者の方からご回答いただき、うれしく思います。いただいたアンケートの回答をもとに、来年度に向けての学校づくりの参考にさせていただきます。上半期の結果と比較しながら分析を加えましたので、どうぞご一読ください。今後ともどうぞよろしく申し上げます。

←肯定的 | 否定的→

子どもは「なしとげたい」とか「こんな人になりたい」などの夢や目標を持っている



子どもはめあてや目標を実現するために、自分で計画を立てている



子どもは失敗を恐れずいろんなことに挑戦しようとしている



子どもは一度うまくいかなくてもすぐにあきらめず、また挑戦しようとしている



子どもは自分のしたことを振り返り、次に生かそうとしている



子どもは自分自身に満足している



子どもは自分には長所があると感じていると思う



子どもは人の役に立つことが好きだ



### 「学校教育目標（育成をめざす資質・能力）」

- ・自分事として考える力
- ・「自分たちで」「自分たちが」考えて行動する力
- ・人と関わり合って、考えを深める力
- ・体験・経験を知識と結びつけて考える力
- ・失敗を恐れず挑戦する力
- ・自己をふり返し、次に生かす力

### 下半年 保護者アンケート結果

グラフの左端（濃い部分）が肯定的なご意見（よくあてはまる、大体あてはまる）、右端に行くにつれて、否定的なご意見（あまりあてはまらない、あてはまらない）となっています。

肯定的な意見が目立つ項目としては、前期と同様、「子どもは日常のいろんなことに「なぜ?」「どうして?」などの疑問を感じる人が多い」「子どもは自分の考えをおうちでよく話している」「子どもは自分には長所があると感じていると思う」「子どもは人の役に立つことが好きだ」などが挙げられると思います。また「子どもは自分と違う意見や考えを大切にしている」という項目については前期よりも6ポイント以上肯定的な意見が多くなりました。自分と異なる意見や考えを大切にするには、その子自身も他者から大切にされていなければ難しいことだと思います。学校のみならず家庭や地域で温かく見守っていただいている環境が待鳳小学校の子どもたちの健やかな成長につながっているように感じます。また、上半期と同じく「自分で計画を立てている」という項目が最も肯定的な意見が少なく、依然として課題と言えます。

### 「目標を実現するための計画づくり」

目標の実現を目指し、自分で学習の計画を立てる力は子どもたちが成りたい自分になるために重要な力の一つであると考えています。メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手が高校生時代に作成した「曼荼羅（まんだら）チャート」などはその最たる例ではないかと思えます。しかし、「今」に視点を置くことが多い小学生にとって、「計画」することの重要度を意識する機会はいくつかの少ないのかもしれませんが、目標を実現するための計画を立て実行していくような子になるためにはいくつかのプロセスがいるのではないかと考えられます。まず1つ目は、子どもが「知りたい」「できるようになりたい」と強く夢や目標をもつことです。強い動機があってはじめて、「そのためには、...」と計画に目が向くからです。また、強い目標は持続して努力を続けるエンジンになります。2つ目は、目標（ゴール）にたどり着くための方法を子どもたちがもつことです。子どもたちがせっかくなるとしても、そこにたどり着く方法の見当がつかなければ、計画を立てるすべがなく、そこでやる気を失ってしまったとしても不思議はありません。計画は目標から逆算しながら考える必要があり高度な作業です。はじめは、大人の手助けが必要になると思います。3つ目は、実行しながら計画を調整し、目標に向かっていく力です。計画を実行する中で計画通りに上手くいくことは稀です。上手くいかなかったときに、計画を調整しながら目標に向かい続けていくことが重要になります。（裏面へ）

● よくあてはまる ● だいたいあてはまる ● あまりあてはまらない ● あてはまらない

← 肯定的 | 否定的 →

いろいろなことに「なぜだろう?」「どうしてだろう?」とよくおもいますか

しりたいことをすぐにほかのひとにきかずに、じぶんでしらべたりかんがえたりしていますか

じぶんのかんがえをひとつたえることはすきですか

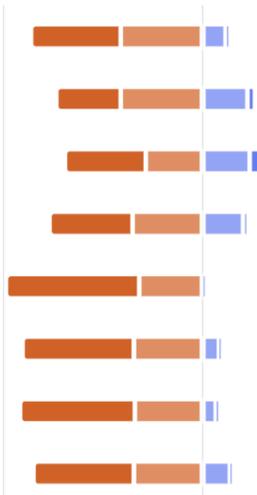
じぶんのかんがえをはなすときは、りゆうまではなすようにしていますか

せんせいやともだちのはなしをよく聞いていますか

あいてをたいせつにしたことばづかいをしていますか

じぶんとちがういけんやかんがえもたいせつにしていますか

じぶんのかんがえとにいたり、ちがったりするところをくらべながらともだちのいけんやかんがえをさくようにしていますか



児童

← 肯定的 | 否定的 →

「こんなことをやりたい」とか「こんな人になりたい」などのゆめやもくひょうはありますか

めあてやもくひょうをじつげんするために、じぶんでいかくをたてていますか

しっばいをおそれず、いろいろなことにチャレンジしようとおもいますか

いちどうまいかなくても、あきらめずにまたチャレンジしようとおもいますか

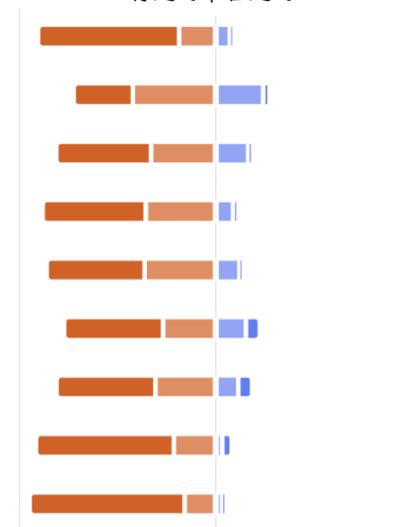
じぶんのしたことをふりかえり、つぎにいかそうとしていますか

じぶんのことはすきですか

じぶんにはちょうしゃがあるとおもいますか

ともだちをいじめたり、なかまはずれにしたりせず、なかよくしていますか。

ひとのやくにたつことをしたいとおもいますか



(表面の続き) 前期でもご紹介の通り本校では社会科や生活科、おとりタイムなどで「自由選択学習」「自由進度学習」に取り組んでいます。その学習を設計する際に、単元のはじめには、「知りたい!」とおもえる教材との「**であい**」を、その後どうすれば知りたいことが解決できるのかを相談しながら各自で「**計画**」し、調べる中で「**学習を見直して**」目標を達成できるように先ほどのプロセスを意識して取り入れています。今後も、子どもたちの中で「1人でもできる」という実感がもてるように引き続き支えていければと思います。

#### 児童アンケート結果

例年のことではありますが、結果としてはどの項目についても**若干の減少**が見られました。残念ながら、「**伝えることがすきか**」「**計画を立てているか**」「**自分のことが好きか**」という設問で、5ポイント以上減少しています。この結果については重く受け止め、今後、子どもたちが自分の頑張りや成長をより実感できるように教育活動を進めて参りたいと思います。

ただ、項目の肯定的な回答の割合は減少しているものの、いずれも肯定的に捉えている児童の割合が高いことに変わりなく、「人の話をよく聞いているか」では99%の児童が肯定的に捉えています。先日もゲストティーチャーでこられた地域の方から、「待鳳小の子どもたちは、素直で話を聞いてくれるし、活動への切り替えも早くて素敵ですね」とお褒めの言葉をいただきました。

来年度も、子どもたちの「やりたい」という挑戦する気持ちを大切にしながら、主体性や意欲をどんどん引き出し、計画的に目標を達成できるように学校体制として取り組んでいきたいです。

#### 保護者自由記述欄について

保護者アンケートの自由記述欄で、多くのご意見をいただいております。すべてを紹介することは難しいため、いただいたご意見をコンパクトにまとめ、カテゴリーしてお示ししたいと思います。

#### 学校行事について

- ・スポフェスで、徒競走やアイデア走など選択できる機会がありよかったです。
- ・スポフェスでは、子どもも先生も一緒に挑戦し、楽しんでる姿が素敵でした。
- ・学校の様子を知れる行事(授業参観 等)がもう少しあったらうれしい。

#### 宿題について

- ・宿題が多く、生活の中で時間が少ないので、授業の内容で充足できる計画を。
- ・マイプリは、子どもの考えがよくわかり読んでいて楽しいです。

#### その他

- ・8:00までに子どもが学校に登校できるような環境を整えて欲しいです。
- ・子どもたちが楽しめるイベントを、子どもたち自身の話し合いで決めさせてくれるところも自主性が育ちとてもいいなと思います。

貴重なご意見をありがとうございます。学校体制上難しいこともあり、すべてのご意見に添えられるわけではないですが、問題を整理し、対策をしていきたいと考えております。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。